

# 長崎の生き物たち

長崎県にはたくさんの  
生き物たちが暮らしている。  
今回紹介するのは、間近で見ることができ、  
時に触れ合える生き物たち。  
さあ、早速彼らに会いに行こう。  
まずは、イルカが暮らす壱岐島へ。

二〇一九年春にリニューアルオープンした「壱岐イルカパーク&リゾート」。ここではイルカたちが自然の海とつながった入江で暮らしており、青い空と緑豊かな山々に囲まれて悠々と泳ぎ、ジャンプする姿が楽しめる。最大の魅力はイルカとの距離感。エサやり体験をはじめ、膝まで海に入りイルカと触れ合えるステップタッチ、一緒に泳ぐドルフィンエンカウンターなど、ここでしか出来ないさまざまな体験メニューが用意されている。また敷地内にはカフェのほか、アスレチック遊具がそろった広場、バーベキュースペースなどがあり、イルカと共にのんびりと一日を過ごすことができる。



現

在、「吉岐イルカパーク&リゾート」で飼育されているのはバンドウイルカ四頭。イルカたちは毎日1時間半おきに食事を取り、そのタイミングでトレーニングが行われるという。七名のトレーナーをまとめるリーダーの讃山萌生さんは「イルカが自分の思いに添えてくれて、トレーニングが上手くいくこと。それが日々の喜びです」と話す。

トレーナーたちは、楽しそうにイルカとコミュニケーションをとっている。イルカも「遊んで！遊んで！」とせがむように、近づいてくる。トレーニングのポイントを褒めて伸ばすこと。母親が小さな子どもを褒めるように褒めると、イルカたちははうれしくなってその行動を繰り返し、できることが増えていくという。

もちろん動物相手のため、上手くいかないこともたくさんある。「私は『The animal is always right.』(動物はいつも正しい)という言葉に胸に置いて、仕事をしています。イルカが思い通りに動いてくれない時は、イルカではなく、トレーナーの伝え方が悪いのだと私は考えています。そして自分のやり方と向き合い、どうすれば良いか検討を重ねます。イルカをトレーニングすることは、自分のメンタルを鍛えることにもつながりますね」と讃山さん。

ここには、水族館のイルカショーのような華やかさはない。その代わり大自然の中でイルカと至近距離で触れ合う特別な時間を過ごすことができる。ジャンプするイルカを見て、地域の子どもたちが大歓声を上げて拍手を送っている。そんな光景が日常だ。

讃山さんは真剣な眼差しでこう語った。「イルカたちが幸せにいられるように考えるのが大前提。私はそれぞれのイルカがここにいる意味付けをし、存在価値を高めてあげたい。その手段は訪れた人の思い出作りを手伝うことかもしれないし、まだ知られていない彼らの能力を引き出すことかもしれない。無限に考えられますが、いずれにしてもそれを考えてあげられるのは、私たちトレーナーだけです」。

# イルカ

大自然の中で  
思いっきり触れ合う。  
その距離感に感動！



「ステップタッチ」では、こんなに近くでイルカがジャンプしてくれる。右奥がトレーナーの讃山さん。

吉岐イルカパーク&リゾートの全景